平成 25 年度　第 6 回日本生物物理学会運営委員会議事次第

日時：2013 年 12 月 21 日（土）13：00～

場所：新大阪丸ビル新館 6 階　609 号室

出席者：難波、七田、石島、須藤、高橋、瀧ノ上、出村、寺北、根岸、野地、村上、南野、船津、佐甲、今元、伊東、金城、山口、石渡、由良、片岡、山下、垣内

報告事項：

1.　平成 25 年度年会報告（七田・山下）：**報 1**

七田年会実行委員長、山下氏から 25 年度京都年会の報告があった。収入合計が 26,605,169 円、支出合計が 24,142,701 円で、約 246 万円の黒字となった（学会本体負担分約 160 万円は含まず）。収支が改善した理由に約 200 人の参加者数の増加を挙げた。例年より外国人参加者が増え、英語対応可のスタッフの増員が必要であること、今回導入した年会アプリは好評（参加者の約 1/3 がダウンロード）であったこと、企業ブースの抽選会も盛況で、企業の印象もよかったこと、全ランチョンセミナーで整理券が完売したことなどが報告された。

2.　平成 26 年度年会準備状況（出村）：**報 2**

出村委員から 26 年度年会準備状況の報告があった。11 月 11 日に年会 HP を公開した。シンポジウムの応募状況が報告された。BIOPHYSICS 論文賞受賞講演枠を確保し、ポスターセレクション形式のシンポジウムや Editor's choice award の受賞者講演シンポジウムを検討している。現在、52 回年会実行委員会の新規銀行口座を開設中。参加費支払い方法としてクレジットカード決済は継続する。年会参加費送金用の郵便振替用紙の印刷廃止を審議したが、廃止した場合の誤送金が不安視されること、年会案内に同封することで送料は節約できることから、一度郵便局に確認することになった。

3.　出版委員会報告（石島）：**報 3**

石島出版委員長から会誌編集委員会の報告があった。地区委員の廃止が提案され、本委員会で承認された。

石渡 BIOPHYSICS 編集委員長から BIOPHYSICS 編集委員会の報告があった。2013 年度、BIOPHYSICS への投稿数は 27 件、掲載数は 20 件。また、欧文誌編集委員規定の改定が承認された。Web of science への掲載について報告があった。PubMed への掲載はさらにハードルが高いため、Web of science の次の段階を予定している。

由良 HP 編集委員長から HP 編集委員会の報告があった。次期ホームページ編集委員に金城氏が推薦され、承認された。Editor's summary の英語版掲載について提案があった。

4.　男女共同参画・若手問題検討委員会報告（出村）：**報 4**

出村委員から男女共同参画・若手問題検討委員会について報告があった。年会中の男女共同参画シンポジウムの開催日を例年の 2 日目から 3 日目に変更したが、参加者数には影響しなかった。邦文誌に報告記事を掲載予定。会場で配布したアンケートでは、全体的に PD 問題への興味が多く、キャリア形成、ワークライフバランスが続いた。男女で興味の分布がかなり違った。来年はワークライフバランスに関する講演を検討している。若手奨励賞選考については、有坂委員長が報告書を作成中。応募喚起の方策として、応募方法・審

査方法を明確にすることが提案された。啓蒙イベントへの出展・参加については、若手の会との連携や各地域の研究室の学生に積極的に呼びかけ、手伝いを募ることとなった。
また、「男女共同参画・『若手問題』検討委員会」というネーミングの変更が提案された。「男女共同参画・『若手支援』委員会」「キャリアパス応援委員会」「キャリアパス支援委員会」などの修正案が出た。男女・若手委員会で修正案を決定し、運営委員会に提出する。

5. 男女共同参画学協会連絡会報告（出村）：**報 5**

引き続き出村委員から報告があった。有坂委員長が男女共同参画学協会連絡会・シンポジウムに参加した。連絡会幹事学会が動物学会から数学会に変更された。

6. IUPAB・ABA 関連報告（野地）：**当日配布**

野地委員から報告があった。IUPAB 関連では、応用技術をアピールする目的で準備を進めている Encyclopedia of biophysical methods の具体的な形が決まってきた。研究実績と製品を掲載した A4 サイズ 2 ページの記事を作成し、BSJ ホームページに記事のリンクを貼る。現在、記事にする話題をリストアップ中。BSJ における IUPAB・ABA 対応運営委員は永井委員、金城委員。
2020 年 IUPAB の招致については、実行部隊となる中堅研究者の IUPAB への理解が不可欠である。そこで 2023 年招致を目指し、まずは中堅研究者の IUPAB2014 への参加を促す。

7. 生物科学学会連合連絡会報告（石島）：**報 7**

石島委員から 10/12 生科連定例会議について報告があった。本学会の代表者を曽我部正博氏から有坂文雄氏に変更した。教科書問題検討委員会には、瀧ノ上氏が出席予定。日本版 NIH への対応や生科連独自の Journal の立ち上げなど、今後も情報把握が重要である。

8. 賞・助成金推薦委員会報告（石島）：**報 8**

石島委員から各賞の受賞について報告があった。第 30 回井上学術賞を野地博行氏が、島津賞を安藤敏夫氏が受賞した。今後は船津委員が担当者になる。藤原賞の学会締切が 1/11 なので、候補の推薦を呼びかけた。

9. 高校生向けパンフレット制作について（野地）：**パンフレット**

野地委員から高校生向けパンフレットの制作状況の報告があった。林委員が作成したパンフレットを 12/21・23 のサイエンスキャッスル配布分だけ印刷した。パンフレットの修正意見を募集し追加分を印刷する。また、ゆるキャラデザインの T シャツを作成してグッズ販売してはどうか、という意見が出た。文科省の一家に 1 枚ポスター（17 万枚）制作は、林委員が 12/20 に東京での 2 回目の打ち合わせに出席し、順調に進んでいる模様。

10. ロゴマーク選考委員会報告（難波）：**報 10**

会員に向けて新しいロゴマークのデザインを募集したところ、27 名から 53 件の応募があった。選考委員会で 3 段階の審査を行い、最終的に 1 つのロゴマークを選出した。今回の作成者はデザインの修正も容認しており、現在作成者と共に配色を検討中。

11. 支部報告（難波）：**資料なし**

中部支部から、2013 年度中部支部会講演会の開催について報告があった。2014 年 3 月 6

日、岡崎コンファレンスセンターを予定。総会にて規約の一部を改正する。また、選挙推薦・支部だより執筆の取りまとめのため近畿支部を設立予定。支部会等の開催は現時点では予定していない。初代支部長は柳田敏雄氏（阪大）で、近畿地方の会員に承認を得る。

議題：

1. 次期会誌編集委員の選出（石島）：**議 1**

石島出版委員長より、H26・27 年度会誌編集委員候補者（滝ノ上正浩氏、山下敦子氏、内橋貴之氏、諏訪牧子氏、飯野亮太氏、山下高廣氏）と副委員長候補者（上田昌宏氏）が提案され、承認された。

2. 平成 26 年度分野別専門委員の選出（石島）：**議 2**

続いて石島出版委員長より分野別専門委員候補が提案された。会長経験者を除き、主に若手を登用する、という観点でリストアップされた候補者を運営委員会にて承認した。新規分野の提案はなし（合計 152 分野）。

3. 業務委託契約について（難波）：**議 3**

来年以降の中西印刷との業務委託契約について審議した。中西印刷への業務委託内容は次年度以降に精査したいという七田次期理事長の意向を尊重し、来年度は中西印刷に委託するということで承認された。

4. 平成 26 年度理事の役割分担について（七田）：**議 4**

七田次期理事長から理事の役割分担の変更提案があり、承認された。

5. 第 3 回 BIOPHYSICS 論文賞の募集について（七田）：**議 5**

七田次期理事長から、第 3 回 BIOPHYSICS 論文賞の公募文面と規定の変更（推薦論文を 2 年にわたって選考すること）について提案があり、承認された。

6. 法人化について（片岡）：**議 6**

片岡法人化実行委員長から来年 1 月より開始する平成 26 年度第一期の事業計画書と予算案が提案された。予算案は法人会計に準拠した形に変更。事業計画書、予算案ともに承認された。組織図については支部、若手の会の記載方法を議論した。支部、若手の会は法人とは別団体であることを明確にする。議論の結果、支部、若手の会は組織図から削除することが決定した。また若手の会は、学会ウェブサイトのタブリンクは削除し、リンク集の中にのみ記載することとなった。役員選出方法の図についても承認された。支部、若手の会は学会とは別の任意団体であることを明確にするため、規約を作成し、学会へ提出する。

7. 選挙管理委員長の指名について（七田）：**資料なし**

選挙管理委員長はこれまで運営委員の中から選出していたが、法人化後、理事は選挙管理委員を兼任できなくなる。七田次期理事長が高田彰二氏を指名した。

8. 平成 26 年度代議員選挙について（七田）：**議 8**

選挙管理委員長に指名された高田彰二氏の代理で七田次期理事長より来年 1 月に実施される代議員の信任投票選挙について説明があり、選挙公告の文案がご承認された。

9.　e-naf 選挙管理システムについて（須藤・政池・神取）：**議 9**

　上記信任投票選挙のために選挙システムの機能拡張（代議員候補者の信任・反対の追加）を発注したことを須藤委員が報告し、委員会にて承認された。

連絡事項：

1.　平成 26 年理事会日程について（七田）

　　平成 26 年度第一期第 1 回理事会　1/25（土）13：00～　　場所：新大阪

　　平成 26 年度第一期第 2 回理事会　4/5（土）13：00～　　場所：調整中

　　平成 26 年度第二期第 1 回理事会　6/28（土）13：00～　場所：調整中